

「業」「宿業」をいただきなおす

昨年9月、「第11回真宗大谷派ハンセン病問題全国交流集会」が富山県において開催されました。その出会いの中で、「ハンセン病」「イタイイタイ病」問題の中で僧侶が「業病」という言葉であきらめを説いてきたということが問われました。

「業病」… “過去の行いの報いによってこんな病気になったのだ”
“前世の種まきが悪かったからだ”

という受け止めを通して、現状をしかたがないとあきらめさせていく在り方を説いてきました。

しかし、「業」とは何かと問われると答えに苦しみます。私たちは「業」ということを曖昧なままにしてきたのではなかったでしょうか。今回「業」「宿業」という仏教の大事なことばをいただきなおす研修会にしたいと思います。ぜひ、1人でも多くの参加をお願いします。ふたたび同じ過ちを犯したくないから…。

【期 日】 2020年4月13日(月)

【会 場】 富山東別院 1階研修ホール

【講 師】 戸次 公正 氏 (大阪教区 第22組 南溟寺住職)

【対 象】 どなたでもご参加ください

【日 程】 13:30 受付

14:00 開会・講義

15:40 座談会・質疑応答・まとめ

16:30 閉会予定

※日程は変更になることがあります

【参加費】 500円